

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年7月10日

事業ID:2024000424

事業名:クリーニング事業に係る機器整備

団体名:(福)江原恵明会

代表者名:理事長 江原秀国

TEL:0868-23-5355

事業完了日:2024年6月30日



■契約時

事業費総額	:	8,590,000 円
自己負担額	:	1,724,000 円
助成金額	:	6,870,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	8,594,000 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	1,724,000 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	6,870,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 就労種目:クリーニング 2. 機器内容:大型ボイラー 3. 整備状況:老朽化に伴う整備 4. 施設名称:友楽荘 5. 整備場所:岡山県津山市一方216-4 6. 定員:30名



(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 就労種目:クリーニング 2. 機器内容:大型ボイラー 3. 整備状況:老朽化に伴う整備 4. 施設名称:友楽荘 5. 整備場所:岡山県津山市一方216-4 6. 定員:30名

(3)成功したこととその要因

大型ボイラーの入替については、購入設置業者と協議を重ね、授産活動をする平日でなく土日を利用し予定通り更新できた。

(4)失敗したこととその要因

-

(5)事業内容詳細

助成金活用で購入した大型ボイラー2台は、特別な目的達成を意図した期間限定プロジェクトの為でなく、生活保護通所授産施設友楽荘の主たる授産科目であるクリーニング事業で、日々・通年使用し続ける生産設備です。長期にわたり障害者福祉が提供できるよう、また環境に配慮した最新のものに更新しました。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況

[Empty box for (3) Success and its factors]



[Empty box for (2) Implementation status]

(3)成功したこととその要因

[Empty box for (4) Failure and its factors]

(4)失敗したこととその要因

[Empty box for (5) Business content details]

(5)事業内容詳細

[Empty box for (5) Business content details]

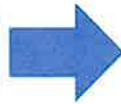
■事業内容4

(1)契約時の事業内容

[Empty box for (1) Business content at contract time]

(2)事業内容の実施(完了)状況

[Empty box for (2) Implementation status]



(3)成功したこととその要因

[Empty box for (4) Failure and its factors]

(4)失敗したこととその要因

[Empty box for (5) Business content details]

(5)事業内容詳細

[Empty box for (5) Business content details]

2. 契約時事業目標の達成状況:

(1) 助成契約書記載の目標

当該事業にある生活保護授産施設は「友楽荘」という名称であり、昭和53年度の日本財団補助金事業で設立した施設です。開所以来主にクリーニング作業を通じ、通算16人のご利用者が社会復帰を果たしています。平成24年5月に移転改築の施設整備を行い、クリーニング作業で社会復帰を目指す経営方針を堅持し、現在に至っています。開所以来ご縁のある日本財団の助成を再び活用することで、クリーニング事業の安定的基盤再構築とし、同事業の作業効率・収益性を高め工賃平均額を高めることで、ご利用者の社会復帰意欲の更なる向上と生活保護費縮減にも貢献します。

(2) 目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	201	文字数チェック	OK
<p>クリーニング事業の安定的基盤再構築のため老朽化した大型蒸気ボイラーの更新を行い、設置後間もないため目に見える効果は今後となりますが、ご利用者からは作業効率が格段に高まったとの声も聞こえます。今後は営業活動にも注力していき顧客数を増やしていくことで収益性を高め工賃平均額を高めることが期待できます。ご利用者の作業に対する充実感も高まり、社会復帰意欲の更なる向上と生活保護費縮減に貢献していきます。</p>			

3. 事業実施によって得られた成果

光熱費のコスト削減や工賃アップなどの事業成果として3年後の2027年3月決算頃の数字として光熱費の前年比より支出減額やご利用者工賃の上昇になっていると見込まれる。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

-


5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

機器(写真等)

(2)事業完了時の成果物名称

機器(写真等)



(3)未作成となった要因

-

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://fields.canpan.info/report/detail/31479>

